

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		草加市児童発達支援センターあおば学園（保育所等訪問支援）					公表日	2026年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		フィードバック時にわかりやすく説明できるよう、ホワイトボードや折り紙などを準備している。	フィードバック面談時に、より丁寧にわかりやすく、支援内容をお伝えできるよう、今後も必要な教具教材を取り入れていきます。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	今の所適切であるが、今後人員について相談していきたい。	今後、訪問支援の件数が増えていくことを鑑み、人員の配置を適正な形で保つことができるよう工夫していきます。		
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		月に1回行っている。 運営会議、計画会議を通して話し合えていると思う。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		会議で各々意見を出している。 秋にも保護者アンケートを実施している。	自己評価とは異なる時期に、保護者アンケートを実施しています。今後も、このような機会に得られる貴重なご意見をもとに、より良い支援を提供できるよう精進してまいります。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		運営会議、計画会議を通して話し合えていると思う。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	令和10年実施予定。	令和10年に実施を予定しています。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		園内で研修を行う機会は少ないように感じています。今後は、外部研修に行った職員に内容を共有してもらったりなど、学びが得られるよう工夫します。また、ケースカンファレンス等で実践を踏まえた学びを深められるよう、時間が確保できるよう工夫します。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		各専門職の意見のもと行われている。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		今後は、アセスメントツール等を利用することも視野に入れながら、利用児の状況を適切に把握できる方法を考え、取り入れます。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		全員では難しいが、児童発達支援管理責任者を通して確認はできている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	会議で打ち合わせは行えているが、その日は都合が合わずできない日もある。 毎日は難しいが、会議等の中で行っている。	支援した当日に振り返りをするのは難しい状況です。一方で、情報の共有にはしっかり時間を取って取り組んでいると考えます。今後は、支援を提供した日に近い日付で振り返りができるよう、時間の使い方を工夫します。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		理念が強いところは共有できている。				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			児童発達支援管理責任者や、お子さんの訪問支援を直近で行った担当者が参加するようにしています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	学校とは情報共有できていない。移行対象児が今年度はいなかった。訪問先施設や保護者として、対象児の共通理解を図り情報共有を促した。	保護者の皆様には、訪問支援のフィードバック時にお渡ししている『保育所等訪問支援事業 報告書』を、情報提供の一環として就学先などに提出することができる旨をお伝えしています。また、お子さんの情報をどのように就学先に話したらよいかなどのご相談にもお答えしています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	外部機関との連携の中で、助言を受ける機会ができた。	今年度は、外部研修に行く機会が少なかったと感じます。来年度以降は、支援に必要な研修の受講や、受講者からの申し送りの充実を図りたいと思います。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			参加して得た情報を、今後の支援に活かしていきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	今年度はそこまでの支援を行う機会がなかったと思う。現状行っていない。	今年度は、利用者ご家族を対象とした研修や情報提供の機会を作ることができませんでした。今後は、本事業の目的や意義をお伝えする機会を設けたり、保護者の皆様のニーズに沿った情報の提供ができるよう、企画します。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		今年度は開催することができませんでした。今後、このような機会を設けていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	HPやSNSを活用した発信は行っていない。	HPを利用した発信をしていきます。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			訪問先施設にもご理解、ご協力をいただき、カンファレンスをさせていただいています。カンファレンスの時間が、より有意義なものとなるよう、職員の学びや知識を深めています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		現在、マニュアル（フロー）を作成し、会議にて周知、改善点の検討を行いました。今後は、完成したものに沿って訓練を行ったり、必要な情報を利用児・ご家族様に提供できるようにします。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		42番と同様になりますが、今後、完成したマニュアル（フロー）に沿って訓練を行ったり、必要な情報を利用児・ご家族様に提供できるようにします。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			